

仕様書 1

事務室2台

月間平均使用枚数 モノクロ 35,100枚、カラー 12,600枚

月間平均使用枚数 モノクロ 17,800枚、カラー 4,700枚

1. 複合機の仕様について

機種	コピー・プリント・スキャナー機能付きのカラー複合機（ネットワークに対応）	
コピー	連続複写速度（A4ヨコ）	モノクロ：70枚/分以上、カラー：70枚/分以上
	解像度	読み取り：600dpi×600dpi、書き込み：1,200dpi×2,400dpi 以上
	複写原稿	シート・ブックとも最大A3サイズ
	複写サイズ	A3からA5、官製はがきサイズ
	複写倍率	25%～400%で、1%単位の任意設定が可能なこと
	ウォームアップタイム	30秒以下
	ファーストコピータイム	モノクロ：3.3秒以下、カラー：4.1秒以下
	給紙方式/容量	本体より4段給紙にてA4用紙を5,000枚以上収容可能なこと。また手差し機能を有していること。 （できない場合は別途、オプションを取付で対応も可能）
	自動両面機能	有していること
	自動両面原稿送り装置	原稿を130枚以上搭載できること。1パス両面スキャン機能が有り、原稿サイズが異なっても、同時に操作できること
	集約コピー	集約コピー（4アップ以上）ができること
	電子ソート機能 （オフセット出力）	フィニッシャーの有無にかかわらず標準でオフセット出力が標準で可能なこと
プリント	解像度	1,200×2,400dpi以上であること
	出力速度	コピー性能と同じ
	対応プロトコル	TCP/IPに対応していること
	ネットワークインターフェイス	Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、USB3.0
スキャナー	読み取りサイズ	コピー機能に準ずる
	原稿読み取り速度 （200dpi）	1パス両面スキャン機能を有しており、モノクロ、カラーとも80枚/分以上の速度での読み込みが可能なこと
	読み取り解像度	200～600dpi
	ファイル形式	フルカラー時に、TIFF、JPEG、PDF形式とする
	主な機能	複合機本体内部に、連番がついた個別の名称付きフォルダーを随時複数設定でき、かつそのフォルダーをパスワードで保護することができることとする。 なお、個別フォルダーは50個以上とする。スキャン用蓄積ボックスに蓄積した文書は一定期間で自動削除が可能なこと。また、PC保存も可能なこと
環境・保守サポート	電源	100V/20A、2.0kw以下（2電源以内）
	環境	グリーン購入法、国際エネルギースタープログラム及びエコマーク商品に適合していること
	用紙の節約	印刷済み用紙の裏紙利用ができること
	その他	設置する複合機は、製造業者の工場から直接出荷される新造機であること
	複合機の日常管理 保守・サポート体制等	携帯回線等を利用し、下記項目を遠隔監視並びに自動通知にて行うこと。 ・メーターカウント情報の取得 ・機械稼働状況の取得（両面印刷/集約印刷/カラー印刷） ・トラブル情報の取得 ・トラブルを未然に防止する予兆診断 ・トラブル等のコールバック ・消耗品情報の取得と自動配送
	使用状況の報告	発注者の希望があるとき、各複合機の使用状況及び環境負荷低減効果を報告書にまとめ、提出すること。 ・各機能の使用状況（コピー/プリント/スキャナー） ・両面印刷/集約印刷/カラー印刷の使用状況 ・統計的に対前年同月値との比較 ・機器の節電モード別の電力時間・消費電力量 ・CO2削減効果

仕様書 2

- 1) 教員印刷室
 月間平均使用枚数 モノクロ 15,000枚、カラー 4,200枚
- 2) 編集室
 月間平均使用枚数 モノクロ 18,100枚、カラー 5,000枚
- 3) 看護交流センター
 月間平均使用枚数 モノクロ 2,700枚、カラー 2,800枚

1. 複合機の仕様について

機種	コピー・プリント・スキャナー機能付きのカラー複合機（ネットワークに対応）	
コピー	連続複写速度（A4ヨコ）	モノクロ：45枚/分以上、カラー：45枚/分以上
	解像度	読み取り：600dpi×600dpi、書き込み：1,200dpi×2,400dpi 以上
	複写原稿	シート・ブックとも最大A3サイズ
	複写サイズ	A3からA5、官製はがきサイズ
	複写倍率	25%～400%で、1%単位の任意設定が可能なこと
	ウォームアップタイム	30秒以下
	ファーストコピータイム	モノクロ：4.4秒以下、カラー：5.7秒以下
	給紙方式/容量	本体より4段給紙にてA4用紙を2,000枚以上収容可能なこと。また手差し機能を有していること。
	自動両面機能	有していること
	自動両面原稿送り装置	原稿を130枚以上搭載できること。1パス両面スキャン機能が有り、原稿サイズが異なっても、同時に操作できること
	集約コピー	集約コピー（4アップ以上）ができること
	電子ソート機能（オフセット出力）	フィニッシャーの有無にかかわらず標準でオフセット出力が標準で可能なこと
	プリント	解像度
出力速度		コピー性能と同じ
対応プロトコル		TCP/IPに対応していること
ネットワークインターフェイス		Ethernet 1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T、USB3.0
スキャナー	読み取りサイズ	コピー機能に準ずる
	原稿読み取り速度（200dpi）	1パス両面スキャン機能を有しており、モノクロ、カラーとも80枚/分以上の速度での読み込みが可能なこと
	読み取り解像度	200～600dpi
	ファイル形式	フルカラー時に、TIFF、JPEG、PDF形式とする
	主な機能	複合機本体内部に、連番がついた個別の名称付きフォルダーを随時複数設定でき、かつそのフォルダーをパスワードで保護することができることとする。なお、個別フォルダーは50個以上とする。スキャン用蓄積ボックスに蓄積した文書は一定期間で自動削除が可能なこと。また、PC保存も可能なこと
環境・保守サポート	電源	100V/15A、1.5kw以下
	環境	グリーン購入法、国際エネルギースタープログラム及びエコマーク商品に適合していること
	管理面	複写管理機器が接続されており、部門別に使用枚数の集計ができること（部門別カード：150枚必要 カード代金は別途購入）
	用紙の節約	印刷済み用紙の裏紙利用ができること
	その他	設置する複合機は、製造業者の工場から直接出荷される新造機であること
	複合機の日常管理 保守・サポート体制等	携帯回線等を利用し、下記項目を遠隔監視並びに自動通知にて行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・メーターカウント情報の取得 ・機械稼働状況の取得（両面印刷/集約印刷/カラー印刷） ・トラブル情報の取得 ・トラブルを未然に防止する予兆診断 ・トラブル等のコールバック ・消耗品情報の取得と自動配送
使用状況の報告	発注者の希望があるとき、各複合機の使用状況及び環境負荷低減効果を報告書にまとめ、提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・各機能の使用状況（コピー/プリント/スキャナー） ・両面印刷/集約印刷/カラー印刷の使用状況 ・統計的に対前年同月値との比較 ・機器の節電モード別の電力時間・消費電力量 ・CO2削減効果 	

仕様書 3

1) 図書館

月間平均使用枚数 モノクロ 600枚、カラー 30枚

2) ラウンジ

月間平均使用枚数 モノクロ 2,000枚、カラー 100枚

1. 複合機の仕様について

	機種	コピー・プリント・スキャナー機能付きのカラー複合機（ネットワークに対応）
コピー	連続複写速度（A4ヨコ）	モノクロ：25枚/分以上、カラー：25枚/分以上
	解像度	読み取り：600dpi×600dpi、書き込み：1,200dpi×2,400dpi 以上
	複写原稿	シート・ブックとも最大A3サイズ
	複写サイズ	A3からA5、官製はがきサイズ
	複写倍率	25%～400%で、1%単位の任意設定が可能なこと
	ウォームアップタイム	30秒以下
	ファーストコピータイム	モノクロ：6.5秒以下、カラー：9.0秒以下
	給紙方式/容量	本体より4段給紙にてA4用紙を2,000枚以上収容可能なこと。また手差し機能を有していること。
	自動両面機能	有していること
	自動両面原稿送り装置	原稿を130枚以上搭載できること。1パス両面スキャン機能が有り、原稿サイズが異なっても、同時に操作できること
	集約コピー	集約コピー（4アップ以上）ができること
	電子ソート機能（オフセット出力）	フィニッシャーの有無にかかわらず標準でオフセット出力が標準で可能なこと
環境・保守サポート	電源	100V/15A、1.5kw以下
	環境	グリーン購入法、国際エネルギースタープログラム及びエコマーク商品に適合していること
	管理面	複写管理機器が接続されており、部門別に使用枚数の集計ができること （部門別カード：150枚必要 カード代金は別途購入）
		課金管理が出来る複写管理機器を有すること
		管理面について、1台の複合機で使用を確保できない場合は、2台（ICカード専用1台、課金専用1台）での対応も可能とする。
	用紙の節約	印刷済み用紙の裏紙利用ができること
	その他	設置する複合機は、製造業者の工場から直接出荷される新造機であること
複合機の日常管理 保守・サポート体制等	携帯回線等を利用し、下記項目を遠隔監視並びに自動通知にて行うこと。 <ul style="list-style-type: none"> ・メーターカウント情報の取得 ・機械稼働状況の取得（両面印刷/集約印刷/カラー印刷） ・トラブル情報の取得 ・トラブルを未然に防止する予兆診断 ・トラブル等のコールバック ・消耗品情報の取得と自動配送 	
使用状況の報告	発注者の希望があるとき、各複合機の使用状況及び環境負荷低減効果を報告書にまとめ、提出すること。 <ul style="list-style-type: none"> ・各機能の使用状況（コピー/プリント/スキャナー） ・両面印刷/集約印刷/カラー印刷の使用状況 ・統計的に対前年同月値との比較 ・機器の節電モード別の電力時間・消費電力量 ・CO2削減効果 	